

えのき通信



令和3年3月23日（火）
武蔵村山市立第九小学校
校長 村山 博子
特別支援教室「えのき」

1年間ありがとうございました

日ごとに暖かくなり、春の訪れを感じる時期となりました。今年度は、緊急事態宣言に伴う一斉休校が5月末まであり、不安に思う児童や保護者の方々も多かったと思います。6月から学校が再開され、特別支援教室でも感染症対策をしながら指導してきました。保護者の様には、いろいろな面で御理解と御協力をいただき、感謝しております。1年間ありがとうございました。そのような状況の中でも、学習や行事、子供同士の関わり合いの中で、子供たちの成長を感じることができました。3学期の「えのきタイム」では、話し合い活動を多く取り入れ、自分の意見を伝えたり、友達の意見を受け入れたりすることが少しずつできるようになってきました。

これからも、「えのき教室」に通う子供たちがそれぞれの良さを活かし、自分のクラスで自信をもって過ごし、一步一步成長していけるように支えていきたいと思っております。

今後とも、よろしくお願いいたします。



3学期個別指導計画について

3学期の個別指導計画を同封いたしました。3学期は指導回数が少ないため、短期目標を少なく設定したり、来年度につなげる目標を設定したりしていますので御了承ください。一年間の頑張りを御家庭でも褒めてあげてください。

連絡ファイルについて

えのき教室で使用している連絡ファイルは来年度も使用します。御家庭で保管して頂き、4月の指導日に持たせてください。また、中に綴じ込んでいるプリント等も抜いて中身を空にして頂きますようお願い致します。



「えのき教室」の予定（4月）

4月15日（木） 「えのき教室」 指導開始

保護者会のお知らせ

年度始めの保護者会を下記のとおり開催いたします。

何かと御多用のことと存じますが、御参加くださいますよう、御案内いたします。



- | | |
|-------|------------------|
| 1 日 時 | 4月13日（火）午後2時～ |
| 2 場 所 | 武蔵村山市立第九小学校 家庭科室 |

こんな活動をしました！



えのきタイム「みんなの意見でそれ正解」

「空を飛ぶものといえば」「人気の給食のメニューといえば」など設定されたテーマに合う答えを一人一人考えて発表しました。自分と違う答えでも、納得できた時には「なるほど」と書かれた札を挙げて、共感しました。複数出た意見からそのグループが考える正解を1つに絞りました。そのグループらしさが出ていました。話し合いがうまく進まない時もあり、自分の意見が通らない時でも、気持ちを切り替えることを学ばせました。

ものづくりタイム「わりばしマジックハンド」

割り箸を輪ゴムで固定しました。輪ゴムを引っ張りながら巻いて留める時に、ゆるくなることが多く、やり直ししながらしっかり固定しました。繰り返し輪ゴムで留める作業を行うことで、上達してきました。完成すると、いろいろな物をつかんでみました。チャレンジでさらに割り箸を2本つなげて長くする子もいました。



運動タイム 「フラフープくぐり」

3学期のサーキットは、①フラフープくぐり②バーピージャンプ③新聞紙棒キャッチ④なわとびの4つの運動を行いました。フラフープくぐりでは、自分の身体がフラフープに当たらないようにボディイメージをもたせました。またぐ時には足を上げる高さ、くぐる時には身体をかかめる低さを意識させました。当たるとフラフープが落ちて自分で気付くことができ、次は当たらないように頑張りました。

